

近畿地方整備局 入札監視委員会（第二部会） 令和元年度第2回審議概要

開催日及び場所	令和元年9月17日（火） 神戸地方合同庁舎 3階 第6共用会議室	
委員	芥川真一（神戸大学大学院工学研究科教授 第二部会長） 泷 圭吾（神戸大学大学院法学研究科教授 今回抽出担当者） 米田和史（米田会計事務所 公認会計士・税理士 第二部会長代理） （五十音順）	
審議対象期間	平成31年4月1日 ～ 令和元年6月30日	
報告事項	①発注状況報告 ②指名停止措置の運用状況報告 ③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告 ④再度入札における一位不動状況報告 ⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告 ⑥一者応札の発生状況報告 ⑦不調・不落の発生状況報告 ⑧高落札率の発生状況報告	（備考） ・①～⑧について、整備局資料に基づき説明を行った。
審議事項	総件数	（備考）
①抽出案件	6件	[抽出件名]
<工事>		
一般競争入札方式（政府調達協定対象）	1件	・大阪港北港南地区航路(-16m)附帯施設護岸(1)基礎等工事(第1工区) ・大阪港北港南地区航路(-16m)附帯施設護岸(1)基礎等工事(第2工区)
一般競争入札方式（WTO対象外）	1件	・和歌山下津港本港地区防波堤(外)(2)災害復旧工事
<業務>		
簡易公募型プロポーザル方式	1件	・舞鶴港港湾物流影響等検討業務
参加者の有無を確認する公募手続き	1件	・港湾・海岸構造物におけるリサイクル骨材を用いたコンクリートの適用性の検討
簡易公募型競争入札方式	1件	・大阪港北港南地区航路(-16m)施工環境調査
<物品役務>		
一般競争入札方式	1件	・標識灯購入

	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【報告事項】</p> <p>①発注状況報告</p> <p>②指名停止措置の運用状況報告</p> <p>③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告</p> <p>④再度入札における一位不調状況報告</p> <p>⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告</p> <p>⑥一者応札の発生状況報告</p> <p>⑦不調・不落の発生状況報告</p> <p>⑧高落札率の発生状況報告</p>	

意見・質問	回答
<p>【審議事項】</p> <p>1. 一般競争入札方式（政府調達協定対象）</p> <p>「大阪港北港南地区航路(-16m)附帯施設護岸(1)基礎等工事(第1工区)」</p> <p>「大阪港北港南地区航路(-16m)附帯施設護岸(1)基礎等工事(第2工区)」</p> <p>・第2工区は落札者なしだが、発注をやり直すのでしょうか。</p> <p>・再度発注した案件の契約額はいくらでしょうか。</p> <p>・入札額が調査基準価格を下回ったことは、予定価格が高かったのか、それとも参加業者の入札額に問題があったのでしょうか。</p> <p>・今年度の低入札価格調査基準の見直しと関係があるのでしょうか。もし、この見直しがあれば、低入札にならなかったのでしょうか。</p>	<p>・第2工区の工事内容のうち盛砂工を外し、工事内容を変更し再度発注手続きを行い、8月に契約に至っています。また、盛砂工は第3工区に含めて現在発注手続き中です。</p> <p>・約5億円です。</p> <p>・参加業者の受注したい意欲の表れか調査基準価格をわずかに下回る額で入札されています。第1工区も落札者以外の3者が同様の入札額となっており、公表している積算基準等をもとに各業者が努力して入札された結果と考えます。</p> <p>・今年度の見直しは、4月以降に公告を行う案件に適用されるもので、本案件と関係はございません。また、この見直しは低入札価格を引き上げる方向になるものです。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事实績の要件の説明は、海上工事でなくともいいということか。</li> <li>・調査基準価格と入札額の差が、予定価格の4万分の1程度であるが、その厳しさは必要なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海上工事であることを求めており、砂材投入と石材投入の実績が、同一工事ではなく別件工事でもいいということです。</li> <li>・調査基準価格の設定は公表されているものであり、この取り扱いは必ず守らなければならないことです。</li> </ul>
---	---

意見・質問	回答
<p><b>2. 一般競争入札方式</b>  <b>「和歌山下津港本港地区防波堤(外)(2)災害復旧工事」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースによる対象者数が16者と少なく、要件設定が厳しいのではないのでしょうか。</li> <li>・和歌山県内に支店等が所在することと限定されているため、入札参加業者が少なかったのではないのでしょうか。</li> <li>・元々あった消波ブロックは、置きなおしせずにそのまま復旧させるのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は、防波堤の災害復旧であり、海上工事を伴うため、コンクリート製プレキャスト部材の据え付けを同種工事として設定し、また、発注標準がB等級のところをA等級(中小)まで拡大しました。若干少ないかもしれませんが、要件としては問題ないものと考えています。</li> <li>・地域の担い手に対して、受注機会を与えることは重要であり、また、災害時に地域の業者を使うことでより災害復旧に寄与することも考えており、この条件を設定しております。</li> <li>・置きなおす作業は、安全上のリスクもあるため、そのままの状態から消波ブロックを追加で据え付け、消波機能を維持できるような形にします。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>3. 簡易公募型プロポーザル方式</b>  <b>「舞鶴港港湾物流影響等検討業務」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務に参加表明をした業者には、どのような技術者がいるのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務である事業効果の検討は、マニュアルに沿って、企業ヒアリングや資料収集など行いながら費用対効果の換算を行うものです。そのため、都市計画や港湾計画など計画業務が得意な業者であったり、技術者も経済に長けた者が多いです。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討した事業効果の成果が想定どおりにならなかった場合に、業者が責任を負うことはあるのか。</li> <li>・ このような業務では、何人の技術者が担当するのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本業務は、新規事業に着手する際に事業効果を分析するものであり、実際に事業を進める段階で再評価を行ったり、事業完了後には事後評価を行うこととなります。例えば、再評価や事後評価の際に、当初の分析が想定どおりでなかったとしても業者が責任を負うことはありません。組織として責任を持つものです。</li> <li>・ 複数の体制で企業ヒアリングを何社も行うので4～5人程度が担当することとなります。</li> </ul>
--	--

意見・質問	回答
<p><b>4. 参加者の有無を確認する公募手続き</b>  <b>「港湾・海岸構造物におけるリサイクル骨材を用いたコンクリートの適用性の検討」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾構造物の耐用年数は何年くらいでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常は50年です。現在は、環境への配慮のために鉄鋼スラグなどのリサイクル骨材を活用して耐用年数が保てるか検討しています。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>5. 簡易公募型競争入札方式</b>  <b>「大阪港北港南地区航路(-16m)施工環境調査」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請者7者のうち4者が要件を満たさなかった理由は何でしょうか。</li> <li>・ 入札者3者の全てが低入札であったが、追加資料は技術点が一番高かった者のみ求めたのでしょうか。</li> <li>・ 水質調査を行う目的と、水質に問題があった場合の対策は何でしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の入札手続きにおいては、一般競争参加資格の平成31・32年度の資格を審査する時期でもあり、入札公告でその資格審査を申請し受理された書類の提出を求めているが、それが提出されなかったためです。</li> <li>・ 追加資料は、全ての者に求めました。他の2者は出てこなかったものです。</li> <li>・ 海上工事を行う際に、濁りの発生や海底の有毒物質が浮遊することが考えられます。周辺海域では漁業も操業されており、水質の異常が周辺に影響を与えるような状況であった場合には、海上工事を一時中断するなどの判断根拠になります。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・低入札であった入札額、調査基準価格をどれくらい下回っていたのでしょうか。</li> <li>・工事の低入札では、わずかの差で辞退されており、業務では辞退されなかったことの違いは何でしょうか。</li> <li>・工事の案件では、そういう受注希望を持たれた業者はいなかったということでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40万円から80万円程度下回っていました。</li> <li>・業務の場合は、低入札に対しては履行確実性調査を行うが、工事も業務も基本的に低入札調査の考え方に違いはありません。この業者は、過去の受注実績がありノウハウも持っているうえ、この業務を受注したい強い意欲があることをヒアリングで聞き取っており、結果的に契約に至ったものです。</li> <li>・詳細は分からないが、色々なお考えがあって総合的に判断されたのではないかと考えられます。</li> </ul>
---	---

意見・質問	回答
<p><b>6. 一般競争入札方式</b> <b>「標識灯購入」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格が高いものではないが、落札率が低い理由は何でしょうか。</li> <li>・例えば、建設会社に見積もりを出させると高い見積もりがあって、その半値や8掛けなど言われますが、本件の場合もそのようなことはあるのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格は、見積もりを徴収のうえ算出していますが、見積額に各社の開きはさほどありませんでした。受注したい意欲で値段を下げられたのではないかと考えられます。</li> <li>・今回の発注時期が、年度末でもあり、たまたま生産ラインが空いていた場合であれば、受注意欲も出るでしょうから、時期がよかったのかもしれない。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>7. 全体を通して</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近では、低入札が特に厳しく見られていると思いますが、低入札の発生状況に時期的なものなど何か傾向はあるのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に年度や季節的な傾向はありません。相対的に見て、低入札の発生頻度が上がっているといったことはありませんので、状況に変化はないと考えています。</li> </ul>